



カーボンフットプリント(CFP)

CFP宣言

登録番号：JR-AR-19004C

エコリーフ環境ラベルプログラム

一般社団法人サステナブル経営推進機構

東京都千代田区鍛冶町2-2-1

https://ecoleaf-label.jp

富士フィルム株式会社  
FUJIFILM Corporation

## Digital Thermal Plate

<現像工程あり/クローズドループリサイクルアルミニウム100%使用>

## Digital Thermal Plate

<Processing required with the solution/Closed-loop recycled aluminum 100% used>

FUJIFILM  
SUPERIA  
Digital Thermal Plate



### 算定単位

平米(m<sup>2</sup>)あたり、代表厚み0.24mm

### 算定対象段階

■最終財 中間財

原材料調達段階、製造段階、輸送段階、  
使用段階、廃棄・リサイクル段階

### 製品の型式、主要仕様・諸元

型式：次頁参照

(代表品種：SUPERIA XP-F 等)

対象：平版印刷用PS版のうち、画像形成方法を  
「Thermal露光機を使用する製品群」で、  
現像処理工程を有する版

#### 主な製品構成

支持体：使用済PS版を全量クローズドループリサイクル  
した再生地金使用

厚みの範囲：0.15~0.40mm

感光層：支持体に塗布した全ての材料を機能性樹脂とする

個装包装：外箱、内包装材料、合紙

現像処理：現像処理工程あり、標準処理条件

### 問い合わせ先

富士フィルム株式会社

■製品に関するお問い合わせ

富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ<sup>®</sup>(株)

TEL (03)5259-2300

■環境に関するお問い合わせ

富士フィルム(株) 環境・品質マネジメント部

TEL (03)6271-2064

### 登録番号

JR-AR-19004C

### 適用PCR番号

PA-937192-AR-01

### PCR名

平版印刷用PS版

### 公開日

2019年11月1日

### 検証合格日

2019年7月9日

### 検証方式

個品別検証方式

### 検証番号

JV-AR-19004

### 検証有効期間

2024年7月8日

### PCRLレビューの実施

認定日等 2019年 3月 1日

委員長 神崎 昌之

(一般社団法人産業環境管理協会)

### 第三者検証者\*

外部検証員 中野 勝行

ISO/TS14067に従った本宣言及びデータの独立した検証

内部

外部

\*システム認証を受けた事業者内の検証の場合は、システム認証を行った審査員の名前を記載。

登録番号：JR-AR-19004C



①CFP算定結果

算定単位 平米(m<sup>2</sup>)あたり、代表厚み0.24mm

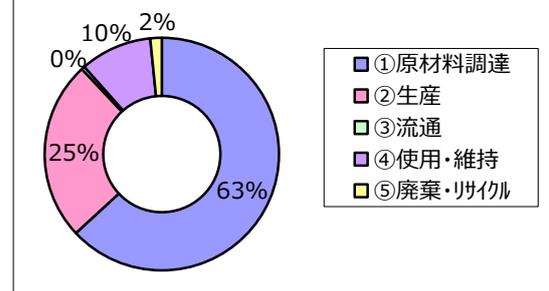
項目	数値	単位
<b>CFP算定結果</b>	<b>3.3</b>	<b>kg-CO<sub>2</sub>eq</b>
内訳	①原材料調達	2.1 kg-CO <sub>2</sub> eq
	②生産	0.82 kg-CO <sub>2</sub> eq
	③流通	0.015 kg-CO <sub>2</sub> eq
	④使用・維持	0.32 kg-CO <sub>2</sub> eq
	⑤廃棄・リサイクル	0.052 kg-CO <sub>2</sub> eq
<b>CFPマークへの表示</b>	<b>3.3</b>	<b>kg</b>
<b>表示単位：</b>	平米(m <sup>2</sup> )あたり、代表厚み0.24mm	

※端数処理により、CFP算定結果と内訳の合計値は若干異なる場合があります。

③その他の環境関連情報

ISO9001およびISO14001認証取得工場で生産しています。

②算定結果に関する追加情報



CFP算定結果は、厚み0.24mmの場合です。厚み違いのCFP値は表1を参照して下さい。

表1

厚み (mm)	CO <sub>2</sub> (kg/m <sup>2</sup> )
0.15	2.7
0.20	3.0
0.24	3.3
0.30	3.7
0.40	4.4

※製品群：Digital Thermal Plate  
Digital Thermal Plateのカテゴリに入る表2の製品は、製造工程はすべて同一方法によっています。また、プレートの使用工程における、赤外線レーザー露光も同一方法です。各製品の違いは、感光層のフェノール樹脂の構成成分のわずかな違い(割合)ですが、算出原単位としては、「フェノール樹脂」を用いるため(PCR参照)CFP値は同一となります。

表2

製品名
SUPERIA XP-P
SUPERIA XP-L
SUPERIA XP-F
SUPERIA XL-T
XP-T
SUPERIA HN-N5
SUPERIA HN-N5A
SUPERIA HN-B
SUPERIA HN-BA
SUPERIA LH-PJ2
SUPERIA LH-PL
SUPERIA LH-P JA
SUPERIA LH-PK
FDT-500
CP-SA

④CFP算定結果の解釈

●代表値 厚み0.24mm、平米(m<sup>2</sup>)あたりで、使用済みのPS版を全量クローズドループリサイクルした時のCFP値です。

●原材料段階のCO<sub>2</sub>e排出量が、ライフサイクル全体の約63%と最も多い結果となりました。

これは主原材料のアルミの生産に起因するため、再生アルミ利用によるCO<sub>2</sub>e排出量削減が非常に重要な要素と言えます。<sup>\*1</sup>

\*1 全量クローズドループリサイクルした再生アルミ(CFP値3.3kg/m<sup>2</sup>)\*<sup>2</sup>を原材料に使うことで、新地金を100%利用した場合(CFP値9.1kg/m<sup>2</sup>)に比べて64%のCO<sub>2</sub>e排出量を削減できました。

「Plate to Plate」リサイクルシステムに参加している場合は、このCFP値を利用することができます。

\*2 クローズドループリサイクル効果など詳細は下記URLをご参照下さい。

<http://ffgs.fujifilm.co.jp/environment/cfp/>

●なお、原材料の使用量と製品製造負荷は弊社データを利用していますが、新地金アルミ製造時等のデータは一般的な値を利用しているため、この結果は概算値としてご理解ください。

⑤使用した二次データの考え方

IDEA Ver2.1.3を使用した。

⑥備考

●データ算定の方法は、PCRおよび算定・宣言規程を参照してください。

●比較については、算定・宣言規程に規定された条件を満たした場合にしか認められません。

(参照先URL：<https://ecoleaf-label.jp/regulation/>)

●製品の提供により生じる気候変動以外のその他の潜在的な社会的／経済的／環境的影響の評価は行っていません。